



Florence

病児保育は子育てファミリーの
新しいライフラインです

2006年1月4日

報道関係者各位

東京都中央区新川2-5-1 PSAビル305
担当:駒崎 03-3206-2604(電話)
03-3206-3049(FAX)
komazaki@florence.or.jp



株式会社クララオンライン
代表取締役 家本賢太郎

1997年、15歳でクララオンライン
設立。1999年『News Week』
にて「21世紀のリーダー100
人」に選ばれる。著書に『僕
が15で社長になった理由』

日本初！ITベンチャー企業の社長が育児休暇を取得！ —育児休暇制度の利用を促進する起爆剤に—

㈱クララオンラインの家本賢太郎社長が、育児休暇をとります。

家本社長は2005年12月18日の第一子の誕生を受けて、ITベンチャー企業の社長という多忙な立場にありながら、育児休暇の取得や短時間勤務制度の利用をしています。

育児休暇を始めとするワーク・ライフ・バランス(仕事と生活を両立できる環境)とは縁遠いと思われがちな中小ベンチャー企業。実際、日本の中小ベンチャー企業の大多数は、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みを始めていません。

しかし、㈱クララオンラインはワーク・ライフ・バランスへの取り組みを、「限られたヒューマン・リソースを最大限生かすための経営戦略の一つ」と位置付け、NPO法人フローレンスと協同して、以下のようなワーク・ライフ・バランスへの取り組みを進めています。

- ・男性従業員が育児休暇を取得できる制度の導入(既に3名の男性従業員が制度を利用)。
- ・クララオンラインのワーク・ライフ・バランスへの取り組みを紹介するウェブサイト、「ワーク・ライフ・バランス★アドベンチャー(<http://www.worklifebalance.jp>)」の一般公開開始。

私達はこのような取り組みを通じて、中小ベンチャー企業におけるワーク・ライフ・バランスのモデルケースを作り、**中小・ベンチャー企業の経営者の意識を変革する「波」を起こしたい**と考えています。

今回、家本社長が育児休暇を取得することは、この「波」を起こすための大きなきっかけになります。**—育児休暇とは全く縁がないと思われがちなITベンチャーの社長でも育児休暇を取れる—**この事実が、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みに着手できずにいる他の中小ベンチャー企業経営者の意識変革をもたらすのです。

👉 **ワーク・ライフ・バランス** とは？

1990年代初頭アメリカで始まった取り組みで、「仕事と私生活のベストバランスが両者に相乗効果を生むこと」をいいます。労働人口が減少するといわれている中、国内中小ベンチャー企業も、ワーク・ライフ・バランスに取り組まなければ、生産性向上を図れない時代にあるのです。



特定非営利活動法人フローレンス

<http://www.florence.or.jp/>